

アジア政経学会 2015年度第4回理事会 議事録

1. 日時：2015年9月5日（土） 15:10～17:30
2. 会場：東京大学社会科学研究所第1会議室
3. 理事総数：24（定足数13） 監事総数：2（定足数1）
4. 参加者：
出席者（理事13名、監事1名）：丸川、青山、阿古、川島、川中、倉田、佐藤、澤田、清水、竹中、田村、永井、中岡、三重野、（以上理事）、山本監事
欠席者（理事11名、監事1名）：磯崎、大西、梶谷、加茂、巖、園田、高橋、中溝、松田、渡邊（以上理事）、大橋監事
5. 議長：丸川理事長
6. 議事
15時10分に丸川理事長が議長席に着き、開会を宣言、倉田理事から、本日の理事欠席者が11名、監事欠席者1名にて、定足数を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。その後、議案の審議に入った。

審議事項

1. 2015年秋季大会（常磐大学）のプログラム（川島、川中）

ア) 応募状況について

川中理事より配布資料1に基づき、自由論題について、応募が18件あったのに対し、辞退1件および学会趣旨と異なるもの2件を減らし6パネルを作成した旨報告された。

イ) 討論者選定とプログラム確定時期について

各セッションにおける討論者の選定について、川中理事が理事会に意見を求め、在席の各理事より候補者の推薦がなされた。

丸川理事長より、大会1ヶ月前の9月16日頃を目処に、会員に向けてアナウンスを行って欲しい旨、川中理事に要請があった。

ウ) 共通論題について

川島理事より、追加配布資料に基づき、共通論題の企画案「アジアの現代史の中のベトナム戦争—終戦四十周年」について説明された。

2. 大会時の報告要旨集について（中岡）

中岡理事より、配布資料2に基づき、カード型USBメモリ郵送による要旨集配布について、費用調査の結果が報告された。報告に基づき、各理事より形式変更のメリットとデメリットについて意見が交わされた。丸川理事長より、本件の決定は開催校に委任する旨発言が

あり、これを受け、中岡理事からは、今大会では人的・時間的余裕がないことから採用を見送りたい旨回答があった。

3. 今後の大会開催予定と大会の名称に関して (丸川、田村)

ア) 大会名称について

丸川理事長より、配布資料 3 に基づき、大会を年 2 回にするので「全国大会」名称を廃し、春季大会と秋季大会にしてはどうかと提案があった。また、どちらを 1 日開催、どちらを 2 日開催にするかはフレキシブルしてはどうかと提案があった。両提案とも承認された。

イ) 2016 年度秋季大会について

田村理事より、来年 11 月 19 日の秋季大会（北九州市立大）の準備状況について報告がなされ、会場の選定について意見が求められた。審議の結果、丸川理事長より、国際会場で開催する方向で進めて欲しい旨、田村理事に依頼がなされた。

ウ) 今後の理事会開催日程について

丸川理事長より、配布資料 3 に基づき、今後の理事会の日程について提案された。

次回 2015 年度第 5 回については、10 月 17 日の秋季大会時、昼休みに開催することが提案された。

第 6 回については、監事の出席可否を確認した上で、12 月 19 日の開催を予定することとした。

第 7 回は、翌年度の計画書と予算を作る都合上、月末に近い 2016 年 3 月 26 日が提案され、同日開催が確定された。

2016 年度第 1 回については、丸川理事長より、例年開催している 4 月末の理事会は省略し、6 月 18 日のアジア経済研究所での大会時に開催したいと提案された。

その後の開催日程については、配布資料上の日程は暫定的なものである旨、丸川理事長より説明があった。

4. 入会者・再入会者・復会者・休会者・会費優待者の承認 (阿古)

阿古理事より、追加配布資料に基づき、入会希望者 6 名、休会希望者 2 名、退会者 8 名である旨、いずれも承認された。

山本監事より、新入会員がそのまま優待会員になる例はかつてあったのか、手続き的に問題がないか質問がなされた。審議の結果、本件については次回理事会で改めて議論することが確認された。

5. 編集委員会の構成 (中溝、三重野)

三重野理事より配布資料 4、4-1 に基づき、新編集委員会の構成について説明がなされ、

承認された。

6. 書評委員会の構成 (厳)

欠席の厳理事が事前に提出した配布資料 5 に基づき書面報告がなされ、新書評委員会の構成が承認された。

7. 『アジア研究』投稿規程の改定 (中溝、三重野)

三重野理事より、配布資料 4-2 に基づき『アジア研究』投稿規定の改定が提案され、改定の主旨は、投稿数を増やすために規定を緩くすること、ある論文を共著で投稿した者がその後別のテーマで単著論文を出すのに 2 年待たせる必要はないこと、文末注の明確化である旨説明された。本件は原案通り承認された。

8. Asian Economic Community Forum 2015 への参加について (永井)

永井理事より、配布資料 6 に基づき、標記の会議参加者公募について事後承認を求めたい旨審議に付され、承認された。

9. 「樫山セミナー」について (丸川)

丸川理事長より、樫山奨学財団より「樫山純三賞」創設 10 周年を記念するセミナー開催を計画しており、アジア政経学会との協力の可能性について照会があったことを報告し、学会として同セミナー開催に取り組むことの是非について議論した。

出席した理事から、同財団について、セミナーの性格について、また助成を受けた場合にどう課税されるかについて質問がなされた。これらについて引き続き検討し、次回以降の理事会で改めて審議する旨決定された。

報告事項

1. 『アジア研究』の編集状況 (中溝、三重野)

三重野理事より、配布資料 4 に基づき、61 期 4 号の入稿が終わった旨報告された。投稿ベースと特集ベースの交互で刊行を進める予定である旨説明された。

また、特集号採用を予定する大会の企画については、大会時に自由論題ではなく企画分科会として応募することが望ましい旨回答された。

2. 2015 年度全国大会の開催 (倉田)

倉田理事より、配布資料 7 に基づき、立教大学で開催された前全国大会の収支報告がなされた。

3. その他

ア) 定例研究会について

丸川理事長より、定例研究会を開催して欲しい旨、担当理事に依頼があった。

イ) ニュースレターについて

清水理事より、次号までが自身の担当であるが、大会記録の未提出者に督促している段階である旨報告がなされた。秋季大会の予告も含め、9月末頃の刊行を考えている旨説明がなされた。

ウ) 福岡アジア文化賞について

清水理事より、福岡アジア文化賞受賞者による講演会についてアナウンスがなされた。

エ) ウェブサイトの更新について

川島理事より、新理事・幹事の名簿をウェブサイトに公開してはどうか提案された。丸川理事長より、法人登記の進捗状況を見て対応する旨回答された。

丸川議長が 17 時 30 分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上。